



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL.073-424-5185

FAX.073-425-6485



ホームページ:<http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

# 済生会

わかやま

# NEWS

第11号 発行日:2007.5

## ～患者様の権利～

- 1、患者様は、平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
- 2、患者様は、医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
- 3、患者様は、検査・治療等に際してそれを受けることを自己の判断のもと承諾あるいは拒否する権利があります。
- 4、患者様は、医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
- 5、患者様は、自己の病状についての情報を得る権利があります。
- 6、患者様は、自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。

## — Information —

### ～地域医療連携室

#### 新室長ごあいさつ～

山本副院長の突然の転勤で地域医療連携室長の大任が、私にまわってきました。地域医療連携室の立ち上げからずっと努力されていた山本先生、本当にご苦労さまでした。

今から約20年前、当時和歌山市新生町で診療していたのですが、ゆっくりとしたリズムで診察をしても、病院経営は成り立っていました。それから時が流れ～何回かの医療法の改定の結果、病院をとりまく環境はどんどん厳しくなっていました。そして、急性期病院として、十分な医療内容を確保するために、現在の病院への移転が必要不可欠となりました。

平均在院日数の減少、入院患者数の増加を基本に、周辺診療所の先生方から、より多くの患者様をご紹介していただけるように、以前にも増して病診連携が重要となってきたのです。当院がどんなことのできる病院かを知っていただくために、『和歌山東臨床研究会』を立ち上げました。そして、研究会に参加していただいた診療所の先生方を中心に、より一層の交流を深め、地域の中核病院として認知していただくために地域医療連携室を、従来の事務室とは別の組織として平成15年1月移転の年に設置したのです。

その後、山本副院長らの努力が徐々に実り、地域医療連携室は診療所の先生方から当院へ、逆に当院から地域医療施設への患者紹介窓口としてかなりの信頼を得られるまでに成長して来ました。この流れを止めず、もっと大きなものにしていくようにスタッフたちと一緒に頑張っていきたいと思っています。

2007年5月



地域医療連携室長 重里 政信



## 脳神経外科のご紹介

脳神経外科部長 仲 寛

『頭のとっぺんから足の先まで』を掲げ、脳神経外科が開設され3年になります。お陰様で外来、入院ともに患者数が増加しています。これもひとえに近隣で開業されている先生方や和歌山市消防・救急隊との地域医療連携の賜と感謝しております。これまで以上のご高配、ご指導をお願い申し上げます。



当院の脳神経外科医は病院長の林を加え4名となり、日本脳神経外科学会の専門医訓練施設にも指定されています。当科は開設以来、24時間体制の脳卒中診療を掲げておりますが、平成18年10月から発症3時間以内の脳梗塞急性期症例にt-PA静注療法が認可され、脳梗塞治療に新しい局面を迎えました。当科では、認可後1年間で7例に施行しており、これは和歌山医大脳外科に次ぐものです。また、24時間の脳卒中診療を行うため、24時間フルタイムMRIや脳血管撮影が可能ですが、脳卒中の発症予防にも力点を置き、未破裂脳動脈瘤や潜在性頸動脈病変の診断治療、脳ドック診断にも力を注いでいます。

また、当院の特徴の一つでもあります。循環器科や心臓血管外科、糖尿病代謝内科などと密接な院内連携をはかり、動脈硬化からくる全身の血管性病変を発見・予防することにも力を入れています。

大病院にはない小回りのきく、キメの細かい脳神経外科診療ができるように心がけ、今まで以上の病診連携をはかれるようにと“脳外科直通電話”も開設しています。いつでもお気軽にご利用下さいますようお願い致します。

病院HP：<http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

## 4階西病棟のご紹介

看護師長 福壽 和美

こんにちは。今回は、4階西病棟を紹介させていただきます。当病棟は、整形外科30床、腎センター2床、耳鼻科3床の混合病棟です。整形外科では変形性股関節症・変形性膝関節症・大腿頸部骨折の方が多く入院されています。今年4月より新たに脊椎の手術も行うようになりました。腎では透析導入目的の方や教育入院の方、耳鼻科では無呼吸症候群や扁桃炎の方が多く入院され、月～金曜日のほぼ毎日手術が行なわれています。



病棟では、『看護はベッドサイドにある』をモットーに、急性期から退院まで継続した専門性の高い看護を提供するとともに、心の通い合う看護へ向けて、患者様や家族の方とのコミュニケーションを大切に、信頼される、心温まる病棟作りを目指しています。今後ともよろしく願いいたします。

## 市民公開講座のお知らせ

### 『B・C型肝炎について』

日時 平成19年5月26日(土)  
14:00～16:00  
場所 和歌山ビッグ愛

患者さま・ご家族さまなど、一般の方々も参加頂けます。  
参加費用は無料です。



## 経理課のご紹介

経理課長 瀧上 和實

当院の経理課は大きく分けて、物品購入と施設管理に分かれています。

物品関係では大型機器（X線機器）から消耗品まで幅広くあります。

昨年4月の診療報酬の大幅減額改定（マイナス3.16%）が当院にも大きく影響していますが、対策の一部として、昨年10月より医療材料削減に向けて外部業者を入れ「医療材料購入改善プロジェクト」を立ち上げ、職員一体となって医療材料費の削減に取り組み業者交渉や同種同好品の変更等に取り組んでいるところです。

又、高騰している光熱水費に関しては、患者様サービスに努めながらもムダをなくすよう省エネに努力しているところです。

施設管理については、ボイラーや冷暖房装置等の管理に注意し、患者様が快適な療養生活が送れますよう心がけ、救急車や寝台自動車の搬送についても事故のないよう十分注意しているところです。

経理課は職員3名、派遣職員1名、パート1名で担当していますが、今後も各自責任をもって努力していききたいと思います。



## 禁煙外来を始めます

循環器科医長 木村 桂三

「やっぱり、今回も止められなかった」タバコを吸われている人の中にはこのような経験をお持ちの方は多いと思います。心臓病、呼吸器疾患、癌のリスクであることを承知していても止められない。M・トウエインは「俺はもう100回も禁煙した」と話したらしいです。喫煙習慣はニコチン依存症というりっばな病気で、本人の意志だけで長期間禁煙ができる人はごくわずかです。ニコチン依存症は“再発しやすいが治療することによって完治しうる慢性疾患”で、日本では2006年より禁煙治療に対する保険適用が開始されました。当院でも禁煙外来を始めます。簡単なテストでニコチン依存症であると判定され、ブリンクマン指数（1日本数×年数）が200以上の外来患者さんに限られますが、5回の診察料とニコチンパッチ剤が保険適応となります。詳しくは内科外来か地域連携室までお気軽にお尋ねください。



### 北山健医院 北山 健先生

昭和56年、自治医科大学を卒業し、和歌山県立医大附属病院で2年間の臨床研修の後、高野山病院での僻地医療に従事する傍ら、紀北分院外科で外科研修を受けました。

“鉄は熱いうちに打て”といいます。地元和医大で、医療技術は勿論、医師としてのあり方をわずか20代半ばにして教えていただいたから、今の自分があるように思います。

和歌山市の西の端、西庄に開業して15年が過ぎました。開院当初より、今の外科部長、重里政信先生のご好意から、済生会病院へ、毎週半日だけ、手術の見学や助手に付かせてもらっています。その経験を日々の診療に役立てば、と日頃より思っています。

また、私が診ている患者さんが急変し、それが、深夜であっても心安く受け入れていただき、済生会病院の諸先生方をはじめ、スタッフの皆様方には深く感謝しています。

数年前より、私の母もそちらで入退院を繰り返してはいますが、大変、好調です。

いつも有難うございます。

これからも、一開業医として、初診を忘れず、肌理の細かい診察を心掛けていきたい、と思います。小回りのきく地域医療の中核病院として、今まで通り、変わらぬご支援よろしくお願いいたします。



# 済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成19年4月1日より)

	内科・糖尿病代謝内科・消化器科			循環器	放射線	外科・心臓血管外科		整形外科		リハビリテーション科	脳神経外科		耳鼻咽喉科	胃センター	眼科	皮膚科	
	2診	3診	4診			9診	8診	13診	14診		7診						
月	午前	山原邦浩	梅田恭史	井関良夫	木村桂三	—	重里政信	—	松崎文作	西山大介	担当医	仲寛	乾芳郎	上野ゆみ	半羽慶行	井上貴久彦	山本有紀
火	午前	文野真樹	江川公浩	—	大鹿裕文	—	平井慶充	高垣有作	船岡信彦	下江隆司	担当医	中川真里	—	上野ゆみ	半羽慶行	井上貴久彦	—
水	午前	山原邦浩	川口雅功	荒古道子	尾鼻正弘	野村尚三	重里政信	—	新患診		西田秀樹	乾芳郎	—	森山智美	半羽慶行	井上貴久彦	—
木	午前	文野真樹	江川公浩	井関良夫	木村桂三	—	駒井宏好	—	松崎文作	西山大介	担当医	仲寛	林靖二	上野ゆみ	半羽慶行	井上貴久彦	岡本勝行
金	午前	川口雅功	荒古道子	梅田恭史	大鹿裕文	—	中村恭子	駒井宏好	船岡信彦	下江隆司	担当医	林靖二	—	上野ゆみ	半羽慶行	宮崎賢一	—

※内科 井関（一般）  
江川（糖尿病・代謝）  
荒古（糖尿病・代謝）  
梅田（糖尿病・代謝）

川口（肝／消化器）  
文野（肝／消化器）  
山原（肝／消化器）

【受付時間】 午前（全科） 8時45分～11時00分  
\*土曜日は休診ですのでご注意ください。

## 地域医療連携室から

## 地域医療連携室 主任 上野山 勝代

済生会和歌山病院は質の高い医療を提供し患者さまに満足していただけるよう、日本医療機能評価機構による「病院機能評価」を受審し、平成18年9月25日認定されました。

今後も認定病院としての自覚を持って、より質の高い医療サービスの提供に努力いたします。



### 【地域医療連携室利用紹介患者数】

平成18年12月…164件 19年1月…198件 2月…198件 3月…180件  
のご利用頂きありがとうございました。

## 研修会

### ●第28回和歌山東臨床研究会 ●

日時：平成19年6月9日（土）  
15：00～17：00

場所：済生会和歌山病院 講堂（7階）

参加ご希望の方は、  
地域医療連携室まで  
ご連絡下さい。



## 診療案内

診察日：月～金曜日

受付時間：午前8時45分～午前11時（但し、予約患者様はこの限りにあらず）

休診日：土・日・祝祭日（年末年始）

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



## 交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

## 地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187